

# 議会報告会 会場報告書

担当班： 1 班 班代表者： 奥土居帥心

概要			
地区名 : 西紀中地区	【出席議員】 奥土居帥心	(1) 開会あいさつ : 奥土居帥心	挨拶・総括 : 奥土居帥心
日時 : 平成27年11月18日 (水) 19:30~21:00	大上磯松	(2) 議会報告 : 植村満	司会進行 : 森本富夫
場所 : げんき・げんきハウス	森本富夫	(3) 質疑応答 : 下記参照	報告 : 植村満
参加人数 : 18人(男17人・女1人)	林 茂	(4) 意見・提言等 : 下記参照	受付 : 足立義則
	植村満	(5) 閉会あいさつ : 大上磯松	記録 : 大上磯松
	足立義則		会場 (マイク) : 足立義則

## 【主な質疑】

質疑・意見	回答
・ 9月議会補正予算の放置空き家対策事業で13万円が計上されているが、何に活用されているのか。	・ 放置空き家調査のための日々雇用職員の人件費です。
・ 北河内の御坊谷池の汚れがひどく汚泥を取り除いてほしい。市から自治会へは、汚泥の廃棄場所を決めていただいたら行うと言われたが、自治会では廃棄する所を見つけるのは困難である。	・ 執行者へは意見があったことを伝えます。
・ 政務活動費については、1名でも活動可能であるのか。	・ 平成26年度は、2つの会派が解散し、新たに2会派が結成され、現在は4会派と会派無所属議員が1名です。
・ 「ふるさと篠山へ住もう帰ろう運動推進事業」の東部8地区の重点地区における3年間の施策の検証結果を聞きたい。	・ 執行者からは、一定の成果があったとの説明を受けています。

質疑・意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>• ささやま医療センターについての評価はどう考えるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 一定の評価はしていますが、巨額の赤字の解消については今後の課題です。議会としても今後注視してまいります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 上水道の漏れ・破裂が2年間で5～6件あった。同じ道の同じ所で直しても漏れている。特に市山地区がひどい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 執行者に意見があったことを伝え対応を求めます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 村の道・市道があるが、東側が大変狭く、救急車が来たが一旦止まって、家まで行けなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 執行者に意見があったことを伝えます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 倉本地内の県道の植栽について、管理はどうなっているのか。草が残っていて道路が見えない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 執行者に意見があったことを伝えます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 防災無線について、聞こえない家庭がある。西紀支所にはすでに報告している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 執行者からは、破損した受信機は順次交換していくという事です。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 新しい人が入ってこられる施策が必要で、総務文教常任委員会の委員会活動のうちで、島根県の3市への視察について詳しく知りたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• まず、浜田市ではふるさと納税制度の成功事例について、次に邑南町では、手厚い子育て支援による定住促進の成功事例、江津市では空き家の流動化対策の成功事例をそれぞれ視察しました。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• サルの被害が深刻であるが、電気柵は有効な手段なので、今後も続けてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 国からの補助のある期間は続けていく予定であると聞いています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 多面的事業について、構造改善の時期が早かったため、水路の傷みが大きく、改修が遅れている。3分の1しか改修ができておらず、多面的事業だけでは対応ができない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 執行者に地元から意見があったことを伝えます。</li> </ul>